

特集

旧正月

大正時代まで続いた東アジアから伝わった曆。当時の始まりを「旧正月」として私たちは今日も大切にしている。この武雄でも、人々の平穏を願う行事が数多く続いてきた。

そんな武雄ならではの旧正月において伝統の一端に触れ、この1年を改めて勢い付けたいと感じた取材ができた。

地域の「豊穰」を願う

率直に思った。なぜ武雄神社はこんなに大切にされているのか。

宮司の武雄哲司（たけおてつし）さんは「神社は昔から地域の寄りどころでした。武雄神社も、人の温かみに溢れ、心の豊かさを培う場所として大切にされてきたのです。」と、語ってくれた。

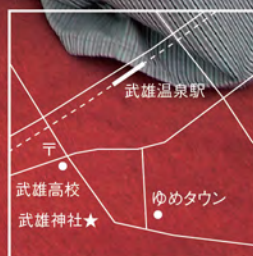
そんな武雄神社に継承される旧正月行事は、1200年以上という県内でも指折りの歴史をもつ「歩射まつり」だ。

2人の射手が大的に向かって6本の矢

を放つ「歩射」は、五穀豊穰を願うとともに、年占いの意味を持つ。静寂の中、所作や礼儀作法など、その二つに意味があり、まるで日本古来の心の在り方をも示しているようだ。

武雄元来の風情と地域を支える源がここにある。今年こそは目にしておきたい、そんな衝動に駆られるのは、私も活力に溢れる武雄の血が廻り始めたからかもしれない。

武雄神社
☎0954-22-2976



1280年前に御船山の北麓に本殿を構えて以来、武雄の街をその起源から見守ってきた武雄神社。一年を通して参拝のみならず、神々しい大楠、夫婦檜、流鏝馬奉納など、景観や催事には多くの方が訪れる。

- 歩射まつり 2月17日(火)
- 武雄流鏝馬 10月23日(金)

※ともに毎年同日開催